【教科別の評価規準】

音　楽	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法 評価材料	歌唱・器楽・創作・鑑賞活動、実技テスト、ワークシートの内容	歌唱・器楽・創作・鑑賞活動、実技テスト、ワークシートの内容	歌唱・器楽・創作・鑑賞活動、実技テスト、ワークシートへ取り組む態度